

- 問1 別海町を含む北海道東部の地域で、稲作や一般的な畑作よりも酪農が著しく発達した地理的な要因は何か。 (2025年 青森県公立入試 類似)
- 夏に親潮の影響で海霧が発生しやすく気温が上がらないため、牧草の栽培に適しているから
 - 火山灰性の土壌が広がっており、水はけが良すぎるため根菜類の栽培に特化しているから
 - 冬の積雪量が非常に多く、豊富な雪解け水を利用して大規模な水田耕作が可能だから
 - 大都市である札幌に近接しており、新鮮な牛乳を迅速に出荷できる立地条件にあるから
- 問2 北海道の農業の土地利用の状況について、東北地方と比較して述べた文として正しいものはどれですか。 (2023年 福島県公立入試 類似)
- 東北地方は全耕作面積に占める米の割合が高く米単作的な傾向があるが、北海道は米以外の作物も大規模に栽培されている。
 - 北海道は全耕作面積に占める米の割合が日本で最も高く、米への依存度が東北地方よりも顕著である。
 - 東北地方は冷涼な気候のため米以外の畑作が中心だが、北海道は広大な土地のほほすべてを米の栽培面積に割り当てている。
 - 北海道と東北地方はともに全耕作面積のほとんどが米で占められており、栽培面積の実数においても地域的な差異は見られない。
- 問3 東京都から各道県への旅客輸送に関する統計において、ある道県は鉄道の利用者が約19万人であるのに対し、航空機の利用者が約627万人と突出して多くなっています。この統計が示す道県の名称と、航空機の利用割合が極めて高い理由の組み合わせとして最も適切なものを次から選びなさい。 (2022年 栃木県公立入試 類似)
- 道県名は新潟県であり、山岳地帯を通過する鉄道よりも、直線的に移動できる航空機の方が効率が良いから。
 - 道県名は大阪府であり、ビジネス客の利便性を高めるために航空路線の便数が鉄道の運行本数を上回っているから
 - 道県名は北海道であり、青函トンネルが貨物専用となっており、旅客が鉄道で海を渡ることができないから。
 - 道県名は北海道であり、東京都からの移動距離が長いため、所要時間の短い航空機が優先的に選択されているから。
- 問4 日本の諸地域のうち、北海道地方について述べた次の文のうち、正しいものはどれですか。なお、北海道には世界自然遺産に登録された知床があります。 (2018年 千葉県公立入試 類似)
- 道庁所在地は函館市であり、本州との交通の要所となっている。
 - 道庁所在地は札幌市であり、都道府県名と都市名が異なる例である。
 - 道庁所在地は釧路市であり、水産業の拠点となっている。
 - 道庁所在地は旭川市であり、上川盆地の中心都市である。
- 問5 北海道東部に位置し、広大な土地を活かしてジャガイモ、小麦、てんさい（ビート）、豆類などを大規模に生産している、日本を代表する畑作地帯の名称を選びなさい。 (2024年 滋賀県公立入試 類似)
- 十勝平野
 - 根釧台地
 - 庄内平野
 - 石狩平野
- 問6 世界自然遺産にも登録されている鹿児島県の屋久島では、樹齢1000年を超える屋久杉などの貴重な生態系を維持するため、エコツーリズムの考え方が取り入れられています。この取り組みにおいて、観光地が果たすべき役割として最も適切な説明はどれですか。 (2022年 沖縄県公立入試 類似)
- 地域の景観をより華やかにするため、もともとその土地になかった外来種の植物を植えて整備する。
 - 木道などを整備して観光客が自然を体験できる場を提供しつつ、環境への負荷を最小限に抑える。
 - 自然環境を維持するために、観光客の立ち入りを一切禁止し、人の影響を完全に排除する。
 - 大型の宿泊施設や道路を整備し、一度にできるだけ多くの観光客を呼び込むことを最優先する。
- 問7 北海道の北端に位置し、中心部に利尻山という火山をもつ人口約5000人の島々では、その豊かな自然景観が国立公園に指定されています。この地域の自然環境を活かした観光業とともに、古くから地域経済を支えてきた、高級ブランドとしても名高い特徴的な産業はどれですか。 (2019年 東京都公立入試 類似)
- 温暖な気候を利用したサトウキビの生産と加工
 - かつての金山跡を中心とした歴史的遺産による観光開発
 - 冷涼な夏の気候を活かしたレタスなどの高原野菜の栽培
 - 寒冷な海域の特性を活かした昆布の養殖や漁業
- 問8 北海道の農畜産業や地域の特徴について説明した文として最も適切なものを、次のうちから1つ選びなさい。 (2026年 岩手県公立入試 類似)
- 豚の飼育数は全国最多であるが、寒冷な気候のため小麦などの畑作はほとんど行われていない。
 - 温暖な気候を利用して米の二期作が行われ、輸送用機械器具の出荷額が全国有数である。
 - 広大な土地を生かした大規模な農業が行われ、小麦の収穫量が多く畑作や畜産業が盛んである。
 - 大都市への輸送に恵まれた近郊農業が中心で、国内航空乗客数は全国で最も少ない。
- 問9 北海道に古くから居住し、自然を敬う独自の文化や独自の言語を持っている先住民族を何と呼びますか。最も適切な名称を選択してください。 (2026年 愛知県公立入試 類似)
- ラテン民族
 - アイヌ民族
 - モンゴル民族
 - スラブ民族
- 問10 北海道の石狩平野では、かつて激しく蛇行していた石狩川の流路を、人工的に作り替える大規模な治水工事が行われました。このような「河川の直線化」が行われた主な理由と、その後の土地利用の変化について説明した記述として最も適切なものはどれですか。 (2021年 神奈川県公立入試 類似)
- 川の流れを緩やかにすることで土砂を堆積させ、大規模な果樹園を造成するため。
 - 水力発電のための貯水池を確保し、周辺に製紙工場を誘致して工業化を進めるため
 - 洪水の被害を軽減して水を速やかに海へ流し、泥炭地を排水して農地を拡大するため。
 - 内陸部への大型船の通航を可能にし、水上交通を利用した工業地帯を形成するため。
- 問11 日本の都道府県別の農業産出額において、品目別の割合を示した統計資料のうち、畜産の割合が約52.5%と過半数を占め、一方で米の割合が約12.2%にとどまっているという特徴を持つ都道府県はどこですか。 (2016年 岩手県公立入試 類似)
- 新潟県
 - 宮城県
 - 北海道
 - 千葉県
- 問12 旭川市周辺において、昭和から平成にかけて田畑や空き地が住宅地や発電所へと変化した現象について、その背景にある社会的な要因として最も適切な説明はどれですか。 (2016年 京都府公立入試 類似)
- 交通網の衰退により、郊外からの人口流出が激しくなり、土地が放置されたため。
 - 自然環境を保護するために、市街地の面積を昭和初期の規模にまで縮小させたため。
 - 食料自給率を向上させるために、都市部の建物を壊して農地を拡大する政策がとられたため。
 - 都市化の進展に伴い、居住空間の確保やエネルギー供給の必要性が高まったため。
- 問13 北海道の倶知安町や二セコ町における外国人宿泊客数の統計では、12月から3月にかけての冬季の客数が突出して多く、他の月との格差が非常に大きいという特徴が見られます。このような宿泊客の動向が生まれている地理的な背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2025年 群馬県公立入試 類似)
- 夏休みの期間を利用した大規模な農業体験が外国人家族連れに普及しているため
 - 流水を観察するための碎氷船観光が、外国人観光客の最大の目的となっているため
 - 梅雨のない気候を求めて、アジア圏から多くの避暑客が長期滞在するため
 - 世界屈指の雪質を求めて海外から多くのスキー・スノーボード客が訪れるため